

2 個別事業評価調書

団体名: 相楽中部消防組合

事業名		木津西出張所訓練施設改修事業			
事業の概要		平成62年の建設以来大規模な改修は行われておらず、当消防本部では訓練施設の老朽化によりこの施設を利用した訓練が実施できない状態が続き、隊員の創意工夫による各種訓練を実施している現状を踏まえて、隊員が安全に各種実践的な訓練を行える施設の確保をするものである。 また、この改修により老朽化の進んだ訓練塔からの構造物等の落下防止を行うものである。			
		事業期間	平成22年9月13日から平成22年12月8日		
		総事業費	9,284	本年度事業費	9,284
事業評価	事業の必要性	複雑多様化する災害現場において、安全かつ迅速的確な消防の活動を確保するため、有効な資機材を整備し、配備した各種資機材を有効に使用しなければ被害軽減を図ることは不可能であり、資機材を使用する隊員が行う訓練は、非常に重要である。			
	事業の有効性	訓練施設の改修に伴い、あらゆる災害に対応した各種訓練、応用訓練を行うことが可能となり、消防隊及び隊員個々の各種災害対応能力が向上し、住民の生命、身体及び財産を守ることを本分とする消防の質的向上につながり、安心・安全に暮らせる地域づくりに有効である。			
	事業の効率性	訓練塔の改修により複雑高度な訓練計画の樹立ができると共に、職員が安心して訓練に取り組むことができ、訓練時における事故の可能性が軽減できる。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果 訓練塔は、消防施設の中でも象徴的な建造物であり、その建造物が外観的にも一新されたということは、地域住民の消防への信頼を得る上でも期待できる。			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
		6 その他の成果 昭和62年の建設以来、時間の経過により老朽化が進み鉄製部分は腐食が進み、壁面等に使用しているA.L.C板の剥離が所々で発生、付近道路への落下危険があったが、改修工事により、危険性はなくなり、外観的にも美しくなったことにより、付近住民等に更なる安心感を与えることができた。 訓練塔改修後、小規模な訓練については30回前後実施し、今後は訓練塔を使用した想定訓練及び消防救助技術指導会への出場に伴う救助訓練等に使用していく予定である。			

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。